平成 30 年 3 月 10 日
第 3 回委員会
【資料 2-1】

平成 29 年度　上郷東地区まちの再生活性化委員会
地域交通分科会の活動について

1　経緯等

・上郷東地区まちの再生・活性化委員会運営要綱（平成 29 年５月 26 日制定）

> 第２条：委員会は、平成 28 年度に策定された「上郷東地区まちづくり構想」に基づき、上郷東地区のまちの再生・活性化に関する検討を行うために開催する。
> 第４条：委員会は、上郷東地区のまちの再生・活性化の検討を具体的に進めるため、分科会を設置することができる。

・地域交通分科会の目的は環状４号線等の課題解決や、バス路線再編に向けた具体的な検討を行う。

2　取組実績

(1) 上郷東地区まちの再生・活性化委員会

開催日	主な内容
第１回　　６月 18 日	委員会運営要綱の制度の説明 平成 28 年度の振り返りの報告 平成 29 年度の進め方の意見交換 分科会の設置
第２回　　11 月 25 日	各分科会活動の中間報告・意見交換
第３回　　３月 10 日	各分科会活動の年間報告 来年度の取組について

(2) 地域交通分科会

開催日	主な内容
第１回　　７月 22 日	分科会のリーダー選出（長倉町自治会　難波会長）、意見交換
第２回　　８月 26 日	上郷公田線の概要、地域交通サポート事業事例の説明
第３回　　９月 30 日	分科会からの要望事項を議決（とりまとめを参照）
第４回　　12 月 16 日	バス路線再編ルート案のワークショップを実施
第５回　　２月 10 日	前回に引き続きルート案の意見交換を実施

3　取組成果

(1) 以下の２点の要望事項が決まった。

①上郷公田線の供用開始に伴い、バス路線を新設すること。

②渋滞を解消し将来の地域活性化につなげるため、環状４号線の早期改善・整備を図ること。

(2) バス新路線の検討案と追加案をまとめた。（裏面参照）

4　平成 30 年度の取組（予定）

アンケート調査結果を踏まえたバスルート案や本数・頻度等の検討と併せて、バス利用者を増やすための活動や身近な移動手段などについて意見交換をしていきます。

なお、バス路線新設については上郷公田線の供用開始（H32 年度予定）と同時にできるよう進めていますが、試験運行や実際の路線の新設・時期等は、バス事業者が判断することとなります。

＜検討案＞分科会として地域の利便性を重視した３案＋第５回分科会後に提案された検討案

＜留意事項＞
バス路線新設については上郷公田線の供用開始（H32 年度予定）と同時にできるよう進めていますが、試験運行や実際の路線の新設・時期等は、バス事業者が判断することとなります。

◆：バス停　●：地区センター　★：コミュニティハウス・旧庄戸中跡
■：ケアプラザ　▲：翠風荘　—：既存路線　—：新路線案

◆目的◆
・昼の買い物及び、朝夕の通勤・通学等の外出による利用を想定
・庄戸、野七里を循環し、利便性を重視

◆メリット◆
・1便で庄戸、野七里を循環する
・ケアプラザ・地区センターの利用に便利

◆デメリット◆
・距離がやや長く、時間がややかかる
（実線部：約3.3km、約8 9分※）

◆課題
・八軒谷戸交差点の渋滞
・庄戸郵便局前の交差点右折待ちによる渋滞
・利用者の確保
・バス停新設付近と新路線沿線（コープ近辺）の住民合意

※・・・時刻表等を参考に推計

◆目的◆
・コミュニティハウス・旧庄戸中への移動、買い物等の外出による利用を想定
・庄戸、野七里を循環し、特に庄戸の利便性を重視

◆メリット◆
・1便で庄戸、野七里を循環する
・コミュニティハウス・旧庄戸中跡・ケアプラザ・地区センターの利用に便利

◆デメリット◆
・距離が長く、時間がかかる
（実線部：約4.7km、約10-11分※）

◆課題
・八軒谷戸交差点の渋滞
・庄戸郵便局前の交差点右折待ちによる渋滞
・利用者の確保
・バス停新設付近と新路線沿線（コープ近辺、コミュニティハウス前の通り）の住民合意

※・・・時刻表等を参考に推計

＜留意事項＞
バス路線新設については上郷公田線の供用開始（H32 年度予定）と同時にできるよう進めていますが、試験運行や実際の路線の新設・時期等は、バス事業者が判断することとなります。

◆：バス停　●：地区センター　★：コミュニティハウス・旧庄戸中跡
■：ケアプラザ　▲：翠風荘　—：既存路線　—：新路線案

◆目的◆
・買い物等の外出による利用を想定
・庄戸、野七里を循環し、特に庄戸の利便性を重視

◆メリット◆
・1便で庄戸、野七里を循環する
・ケアプラザ・地区センターの利用に便利

◆デメリット◆
・距離が長く、時間がかかる
（実線部：約6.6km 、約15-16分※ ）

◆課題
・八軒谷戸交差点の渋滞
・利用者の確保
・バス停新設付近と新路線沿線（コープ近辺）の住民合意

※・・・時刻表等を参考に推計

◆目的◆
・買い物等の外出による利用を想定
・庄戸、野七里を循環し、特に庄戸の利便性を重視

◆メリット◆
・1便で庄戸、野七里を循環する
・ケアプラザ・地区センターの利用に便利
・環状4号線への負担の軽減

◆デメリット◆
・距離が長く、時間がかかる
（実線部：約6.0km 、約13-14分※ ）

◆課題
・八軒谷戸交差点の渋滞
・利用者の確保
・バス停新設付近と新路線沿線（コープ近辺）の住民合意

※・・・時刻表等を参考に推計

＜追加案＞

＜留意事項＞
バス路線新設については上郷公田線の供用開始（H32 年度予定）と同時にできるよう進めていますが、試験運行や実際の路線の新設・時期等は、バス事業者が判断することとなります。

◆:バス停　●：地区ｾﾝﾀｰ　★:ｺﾐｭﾆﾃｨﾊｳｽ・旧庄戸中跡
■:ケアプラザ　▲:翠風荘　—:既存路線　—:新路線案

◆目的◆
・利便性を重視した検討案①～④と別に、朝夕に限定し速達性を重視した案

◆メリット◆
・金沢方向一桂町方向への速達性の向上
・往復運行に加えて、朝夕のみに限定されるため、運行効率が高い
・神戸橋以南の利便性が高い

◆デメリット◆
・ケアプラザ・コミュニティハウスの最寄バス停を通らない

◆課題
・利用者の確保